

中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会
教科に関する専門的事項に関するワーキンググループ(家庭)
(第1回)議事次第

令和5年5月25日(木)

13:30~15:30

W E B 会 議

1. 開会

2. 議事

- (1)主査等の選任
- (2)教科に関する専門的事項に関する検討について(家庭)
- (3)その他

3. 閉会

(配布資料)

- 資料1 中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会
教科に関する専門的事項に関する検討委員会の設置について
- 資料2 教科に関する専門的事項に関する検討委員会名簿
- 資料3 教科に関する専門的事項に関する検討資料(家庭)
- 資料3-2 高等学校家庭科の科目の変遷
- 資料4 大学のカリキュラム例
- 資料5 論点例
- 資料6 今後のスケジュール

- 参考資料1 中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会教科に関する
専門的事項に関する検討委員会の設置について
- 参考資料2 教科に関する専門的事項に関する科目区分の改正経緯一覧
- 参考資料3 教科に関する専門的事項に関する検討委員会基礎資料
- 参考資料4 中学校学習指導要領解説(技術・家庭編)
- 参考資料5 高等学校学習指導要領解説(家庭編)

教科に関する専門的事項に関するワーキンググループの設置について

令和 5 年 5 月 1 2 日
教科に関する専門的事項
に関する検討委員会決定

1. 設置の目的

教科に関する専門的事項に関する検討委員会（以下、「委員会」という。）の設置について 2. に基づき、委員会のもとに、教科に関する専門的事項に関するワーキンググループ（以下、「ワーキンググループ」という。）を次のとおり設置する。

2. 検討事項

以下の教科について、専門的事項の科目区分・内容の適切な在り方を検討する。

- ・ 理 科
- ・ 技 術
- ・ 家 庭
- ・ 情 報

3. 設置期間

ワーキンググループは、2. の検討事項に関する検討が終了した時に廃止するものとする。

4. 委員会への報告

- (1) ワーキンググループの検討状況は適時に委員会へ報告するものとする。
- (2) 委員会からの求めがあったときは、ワーキンググループの検討の経緯を委員会に報告するものとする。

中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会
教科に関する専門的事項に関する検討委員会
家庭ワーキンググループ名簿

五十音順・敬称略

- ・岡本 幾子 大阪教育大学長
- ・鈴木 明子 広島大学大学院人間社会科学研究科教授
- ・鈴木 佳子 前群馬県教育委員会教育次長、
共愛学園前橋国際大学教職支援室長

(オブザーバー)

- ・田邊 暁子 文部科学省教科調査官

役職は令和5年5月1日現在

【家庭】教科に関する専門的事項
に関する検討資料

令和4年12月答申における提言

4年12月中央教育審議会答申：『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について

2. 多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成

- (1) 教職課程における多様な専門性を有する教師の養成
- ②. 専科指導優先実施教科に対応した小学校教員養成の促進

令和4年度から小学校高学年における教科担任制が本格的に導入されたが、教科指導の専門性を有する教師による多様な教材を活用したより熟練した指導や、児童生徒の発達段階を理解した小学校から中学校への円滑な接続等の観点からは、小学校と中学校の両方の免許状を有する教師を増やしていくことが望ましい。

(略)

また、既に小学校や中学校等の免許状を有する現職の教師等についても、**免許法認定講習や、大学での科目等履修等により、複数校種・複数教科の免許状保有を促すことも重要である。**

「教科に関する専門的事項に関する科目」についても、学習指導要領等との整合性について改めて確認することも重要である。教育職員免許法施行規則に掲げる**事項が多い教科について、中学校二種免許状を取得しようとする場合、同規則で定める最低単位数を超える単位の取得を要するケースが生じている。**このため、「教科に関する専門的事項に関する科目」について、**専門的事項の数が多い教科を中心に必要な見直しを行うべき**である。

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭、並びに養護教諭及び栄養教諭の免許状を取得するためには、教育職員免許法の定めるところにより、所定の基礎資格を備え、かつ、「教科及び教職に関する科目」等について所定の単位を修得することが必要。

| | 免許状の種類 | 所要資格 | 基礎資格 | 大学において修得することを必要とする最低単位数 |
|-------|--------|------|-----------------|-------------------------|
| | | | | 教科及び教職に関する科目 |
| 中学校教諭 | 専修免許状 | | 修士の学位を有すること。 | 8 3 |
| | 一種免許状 | | 学士の学位を有すること。 | 5 9 |
| | 二種免許状 | | 短期大学士の学位を有すること。 | 3 5 |
| 高校教諭 | 専修免許状 | | 修士の学位を有すること。 | 8 3 |
| | 一種免許状 | | 学士の学位を有すること。 | 5 9 |

＜中学校教諭免許状＞

| | 各科目に含めることが必要な事項 | 専修 | 一種 | 二種 |
|--|---|----|----|----|
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | イ 教科に関する専門的事項 ロ 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)(一種:8単位、二種:2単位) | 28 | 28 | 12 |
| 教育の基礎的理解に関する科目 | イ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ロ 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) ハ 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) ニ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ホ 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解(1単位) ヘ 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) | 10 | 10 | 6 |
| 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | イ 道徳の理論及び指導法(一種:2単位、二種:1単位) ロ 総合的な学習の時間の指導法 ハ 特別活動の指導法 ニ 教育の方法及び技術 ホ 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法(1単位) ヘ 生徒指導の理論及び方法 ト 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 チ 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 | 10 | 10 | 6 |
| 教育実践に関する科目 | イ 教育実習(学校体験活動を2単位まで含むことができる。) | 5 | 5 | 5 |
| | ロ 教職実践演習 | 2 | 2 | 2 |
| 大学が独自に設定する科目 | | 28 | 4 | 4 |
| 合計 | | 83 | 59 | 35 |

＜高等学校教諭免許状＞

| | 各科目に含めることが必要な事項 | 専修 | 一種 |
|--|---|----|----|
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | イ 教科に関する専門的事項 ロ 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)(4単位) | 24 | 24 |
| 教育の基礎的理解に関する科目 | イ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ロ 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) ハ 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) ニ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ホ 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解(1単位) ヘ 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) | 10 | 10 |
| 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | イ 総合的な探究の時間の指導法 ロ 特別活動の指導法 ハ 教育の方法及び技術 ニ 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法(1単位) ホ 生徒指導の理論及び方法 ヘ 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 ト 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 | 8 | 8 |
| 教育実践に関する科目 | イ 教育実習(学校体験活動を1単位まで含むことができる。) | 3 | 3 |
| | ロ 教職実践演習 | 2 | 2 |
| 大学が独自に設定する科目 | | 36 | 12 |
| 合計 | | 83 | 59 |

○教科の専門的事項については、一種であれば最大20単位、二種であれば最大10単位の履修が必要。

1. 免許法別表第一による取得（大学の教職課程による取得）

| | 教科及び教科の指導法 | 教育の基礎的理解 | 道徳、総合等 | 教育実践 | 大学独自科目 |
|----|-----------------|----------|--------|------|--------|
| 一種 | 28(うち教科の指導法8以上) | 10 | 10 | 7 | 4 |
| 二種 | 12(うち教科の指導法2以上) | 6 | 6 | 7 | 4 |

2. 免許法別表第四による取得（同一校種その他教科の免許状を取得する場合）

| 中学校普通免許状 | + | | 教科の専門的事項 | 教科指導法 |
|----------|---|----|----------|-------|
| | | 一種 | 20 | 8 |
| | | 二種 | 10 | 3 |

3. 免許法別表第八による取得（隣接校種の免許状を取得する場合）

| | | | | | | | | |
|-----------|---|------------------------|---|----|----------|-------|-------|--------|
| 小学校普通免許状 | + | 3年以上の勤務経験 (良好な勤務成績) | + | | 教科の専門的事項 | 教科指導法 | 生徒指導等 | |
| | | | | 二種 | 10(5※) | 2(1※) | 2(1※) | |
| 高等学校普通免許状 | + | 3年以上の勤務経験 (良好な勤務成績) | + | | 教科指導法 | 道徳 | 生徒指導等 | 大学独自科目 |
| | | | | 二種 | 2(1※) | 1 | 2(1※) | 4(2※) |

※経験年数による軽減措置適用後の最低単位数

教科の専門的事項の内容を含む

○各科目区分について1単位以上の履修が必要。

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|--------------------|-------|---------------------------|
| 国語 | 4 | 国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。) |
| | | 国文学(国文学史を含む。) |
| | | 漢文学 |
| | | 書道(書写を中心とする。) |
| 社会 | 5 | 日本史・外国史 |
| | | 地理学(地誌を含む。) |
| | | 「法律学、政治学」 |
| | | 「社会学、経済学」 |
| 数学 | 5 | 代数学 |
| | | 幾何学 |
| | | 解析学 |
| | | 「確率論、統計学」 |
| | | コンピュータ |
| 理科 | 8 | 物理学 |
| | | 物理学実験(コンピュータ活用を含む。) |
| | | 化学 |
| | | 化学実験(コンピュータ活用を含む。) |
| | | 生物学 |
| | | 生物学実験(コンピュータ活用を含む。) |
| | | 地学 |
| 地学実験(コンピュータ活用を含む。) | | |

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|------|-------|---|
| 音楽 | 5 | ソルフェージュ |
| | | 声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。) |
| | | 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。) |
| | | 指揮法 |
| | | 音楽理論・作曲法(編曲法を含む。)-音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。) |
| 美術 | 5 | 絵画(映像メディア表現を含む。) |
| | | 彫塑 |
| | | デザイン(映像メディア表現を含む。) |
| | | 工芸 |
| | | 美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。) |
| 保健体育 | 5 | 体育実技 |
| | | 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。) |
| | | 生理学(運動生理学を含む。) |
| | | 衛生学・公衆衛生学 |
| 保健 | 3 | 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。) |
| | | 生理学・栄養学 |
| | | 衛生学・公衆衛生学 |
| 技術 | 6 | 木材加工(製図及び実習を含む。) |
| | | 金属加工(製図及び実習を含む。) |
| | | 機械(実習を含む。) |
| | | 電気(実習を含む。) |
| | | 栽培(実習を含む。) |
| | | 情報とコンピュータ(実習を含む。) |

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|------|-------|----------------------------|
| 家庭 | 5 | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) |
| | | 被服学(被服製作実習を含む。) |
| | | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) |
| | | 住居学 |
| | | 保育学(実習を含む。) |
| 職業 | 4 | 産業概説 |
| | | 職業指導 |
| | | 「農業、工業、商業、水産」 |
| | | 「農業実習、工業実習、商業実習、水産実習、商船実習」 |
| 職業指導 | 3 | 職業指導 |
| | | 職業指導の技術 |
| | | 職業指導の運営管理 |
| 英語 | 4 | 英語学 |
| | | 英米文学 |
| | | 英語コミュニケーション |
| | | 異文化理解 |
| 宗教 | 3 | 宗教学 |
| | | 宗教史 |
| | | 「教理学、哲学」 |

※「法律学、政治学」のように括弧内に複数の科目が記載されているものは、いずれか1つの科目を履修すればよい。日本史・外国史のように中点で列挙されているものは全ての科目を履修する必要がある。 5

○各科目区分について1単位以上の履修が必要。

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|------|-------|-----------------------------|
| 国語 | 3 | 国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。) |
| | | 国文学(国文学史を含む。) |
| | | 漢文学 |
| 地理歴史 | 4 | 日本史 |
| | | 外国史 |
| | | 人文地理学・自然地理学 |
| | | 地誌 |
| 公民 | 3 | 「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」 |
| | | 「社会学、経済学(国際経済を含む。)」 |
| | | 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 |
| 数学 | 5 | 代数学 |
| | | 幾何学 |
| | | 解析学 |
| | | 「確率論、統計学」 |
| | | コンピュータ |

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|-----|-------|---|
| 理科 | 5 | 物理学 |
| | | 化学 |
| | | 生物学 |
| | | 地学 |
| | | 「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」 |
| 音楽 | 5 | ソルフェージュ |
| | | 声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。) |
| | | 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。) |
| | | 指揮法 |
| | | 音楽理論・作曲法(編曲法を含む。)、音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。) |
| 美術 | 4 | 絵画(映像メディア表現を含む。) |
| | | 彫塑 |
| | | デザイン(映像メディア表現を含む。) |
| | | 美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。) |

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|------|-------|---|
| 工芸 | 4 | 図法・製図 |
| | | デザイン |
| | | 工芸制作(プロダクト制作を含む。) |
| | | 工芸理論・デザイン理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。) |
| 書道 | 4 | 書道(書写を含む。) |
| | | 書道史 |
| | | 「書論、鑑賞」 |
| | | 「国文学、漢文学」 |
| 保健体育 | 5 | 体育実技 |
| | | 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。) |
| | | 生理学(運動生理学を含む。) |
| | | 衛生学・公衆衛生学 |
| | | 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。) |

※「法学、政治学」のように括弧内に複数の科目が記載されているものは、いずれか 1つの科目を履修すればよい。日本史・外国史のように中点で列挙されているものは全ての科目を履修する必要がある。

教科に関する専門的事項に関する科目区分一覧(高等学校②)

○各科目区分について1単位以上の履修が必要。

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|-------|-------|--------------------------------|
| 保健 | 3 | 「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」 |
| | | 衛生学・公衆衛生学 |
| | | 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。) |
| 看護 | 3 | 「生理学、生化学、病理学、微生物学、薬理学」 |
| | | 看護学(成人看護学、老年看護学及び母子看護学を含む。) |
| | | 看護実習 |
| 情報 | 6 | 情報社会・情報倫理 |
| | | コンピュータ・情報処理(実習を含む。) |
| | | 情報システム(実習を含む。) |
| | | 情報通信ネットワーク(実習を含む。) |
| | | マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。) |
| 情報と職業 | | |

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|-------------------|----------|---|
| 農業 | 2 | 農業の関係科目 |
| | | 職業指導 |
| 工業 | 2 | 工業の関係科目 |
| | | 職業指導 |
| 商業 | 2 | 商業の関係科目 |
| | | 職業指導 |
| 水産 | 2 | 水産の関係科目 |
| | | 職業指導 |
| 福祉 | 7 (※) | 社会福祉学(職業指導を含む。) |
| | | 高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉 |
| | | 社会福祉援助技術 |
| | | 介護理論・介護技術 |
| | | 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。) |
| | | 人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解 |
| 加齢に関する理解・障害に関する理解 | | |
| 宗教 | 3 | 宗教学 |
| | | 宗教史 |
| | | 「教理学、哲学」 |

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|------|-------|-------------------------|
| 商船 | 2 | 商船の関係科目 |
| | | 職業指導 |
| 家庭 | 6 | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) |
| | | 被服学(被服製作実習を含む。) |
| | | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) |
| | | 住居学(製図を含む。) |
| | | 保育学(実習及び家庭看護を含む。) |
| | | 家庭電気・家庭機械・情報処理 |
| 職業指導 | 3 | 職業指導 |
| | | 職業指導の技術 |
| | | 職業指導の運営管理 |
| 英語 | 4 | 英語学 |
| | | 英米文学 |
| | | 英語コミュニケーション |
| | | 異文化理解 |
| 宗教 | 3 | 宗教学 |
| | | 宗教史 |
| | | 「教理学、哲学」 |

(※) 福祉については、平成19年の社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年法律第30号)改正により、介護福祉士制度が変更されたことに伴う学習指導要領の改訂に対応したものであり、平成22年に免許法施行規則を改正し、現行の7科目区分とした。

家庭の科目区分の改正の変遷

| 施行日 | 昭和29年12月3日 | 昭和34年7月25日 | 昭和37年4月1日 | 昭和45年4月1日 | 昭和48年8月9日 | 平成1年4月1日 | 平成2年4月1日 | 平成10年7月1日 | 平成12年7月1日 ～現在 |
|-----------|-----------------|------------------------|------------------------|-------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 家庭 (中) | 「食品学、栄養学」 | 「食品学、栄養学」及び調理実習 | 「食品学、栄養学」及び調理実習 | 栄養学、食品学及び調理実習 | 栄養学、食品学及び調理実習 | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) |
| | 「被服学、衣料学」 | 「被服学、衣料学」及び衣服実習 | 「被服学、衣料学」及び衣服実習 | 被服学、衣料学及び衣服実習 | 被服学、衣料学及び衣服実習 | 被服学(被服製作実習を含む。) | 被服学(被服製作実習を含む。) | 被服学(被服製作実習を含む。) | 被服学(被服製作実習を含む。) |
| | 「家庭管理、住居学、家族関係」 | 「家庭管理、住居学、家族関係」 | 「家庭管理、住居学、家族関係」 | 住居学(製図及び家庭工作を含む。) | 住居学(製図及び家庭工作を含む。) | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) |
| | | | | 育児(家庭看護を含む。) | 育児(家庭看護を含む。) | 住居学(製図を含む。) | 住居学(製図を含む。) | 住居学(製図を含む。) | 住居学 |
| | 「育児、家庭看護学」 | 「育児、家庭看護学」 | 「育児、家庭看護学」 | 「家庭経営、家族関係」 | 「家庭経営、家族関係」 | 保育学(家庭看護を含む。) | 保育学(家庭看護を含む。) | 保育学(家庭看護を含む。) | 保育学(実習を含む。) |
| | 「調理実習、衣服実習」 | 家庭機械及び家庭工作(設計及び製図を含む。) | 家庭機械及び家庭工作(設計及び製図を含む。) | 家庭機械及び家庭電気 | 家庭機械及び家庭電気 | 家庭機械・電気 | 家庭機械・電気 | 家庭機械・電気 | |
| 家庭 (高) | 「食品学、栄養学」 | 「食品学、栄養学」 | 「食品学、栄養学」 | 「食品学、栄養学」 | 「食品学、栄養学」 | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) |
| | 「被服学、衣料学」 | 「被服学、衣料学」 | 「被服学、衣料学」 | 「被服学、衣料学」 | 「被服学、衣料学」 | 被服学(被服製作実習を含む。) | 被服学(被服製作実習を含む。) | 被服学(被服製作実習を含む。) | 被服学(被服製作実習を含む。) |
| | 「家庭管理、住居学、家族関係」 | 「家庭管理、住居学、家族関係」 | 「家庭管理、住居学、家族関係」 | 「家庭管理、住居学、家族関係」 | 「家庭管理、住居学、家族関係」 | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) |
| | 「育児、家庭看護学」 | 「育児、家庭看護学」 | 「育児、家庭看護学」 | 「育児、家庭看護学」 | 「育児、家庭看護学」 | 住居学 | 住居学 | 住居学 | 住居学(製図を含む。) |
| | 「調理実習、衣服実習」 | 「調理実習、衣服実習」 | 「調理実習、衣服実習」 | 「調理実習、衣服実習」 | 「調理実習、衣服実習」 | 保育学(家庭看護を含む。) | 保育学(家庭看護を含む。) | 保育学(家庭看護を含む。) | 保育学(実習及び家庭看護を含む。) |
| | | | | | 11 | 家庭電気・機械及び情報処理 | 家庭電気・機械及び情報処理 | 家庭電気・機械及び情報処理 | 家庭電気・機械及び情報処理 |

課程認定大学等数

| 区分 | 大学等数 (R3.4.1) | 課程認定大学等数 (R4.4.1) | | 免許状の種類別の課程認定大学数等(R4.4.1) | | | | | | |
|-------------|------------------|----------------------|-------|--------------------------|---------|---------|---------|--------|------|--------------|
| | | | | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 養護教諭 | 栄養教諭 | 特別支援 学校教諭 |
| 大学 | 780 | 602(23) | 77.2% | 269(13) | 250(13) | 514(16) | 542(18) | 131(4) | 138 | 165(5) |
| 短期大学 | 317 | 219(8) | 69.1% | 198(7) | 21 | 35(1) | | 10 | 43 | 2 |
| 大学院 | 652 | 406(11) | 62.3% | 109(5) | 128(5) | 343(6) | 379(9) | 66 | 45 | 58(1) |
| 専攻科 | 72 | 32 | 44.4% | 3 | 7 | 12 | 14 | 1 | 0 | 13 |
| 短期大学 専攻科 | 86 | 13 | 15.1% | 8 | 2 | | | 5 | 0 | 0 |

※1 括弧内の数値は、各欄における教職課程を有する大学等数のうち、通信教育課程を有する大学等数。

※2 通信教育課程を有する大学においても、教職課程の科目のうち教育実習等の一部の科目は通学昼間スクーリングで実施される。

課程認定大学等数(中・高 教科別)

○課程認定大学数が多い教科は、中学では、英語、社会、国語となっている。少ない教科は、保健、技術、音楽となっている。

【中学校 教科別】

| | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 保健 体育 | 保健 | 技術 | 家庭 | 職業 | 職業 指導 | 英語 | 外国語 | 宗教 |
|------|-----|-----|-----|-----|----|-----|----------|----|----|-----|----|----------|-----|-----|----|
| 大学 | 230 | 289 | 156 | 166 | 92 | 103 | 181 | 35 | 63 | 102 | 0 | 2 | 301 | 42 | 27 |
| 短期大学 | 8 | 4 | 0 | 0 | 8 | 5 | 3 | 1 | 0 | 11 | 0 | 0 | 12 | 0 | 0 |
| 大学院 | 168 | 200 | 119 | 146 | 93 | 88 | 99 | 54 | 72 | 89 | 28 | 30 | 195 | 55 | 52 |
| 専攻科 | 2 | 1 | 1 | 0 | 9 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |

課程認定大学等数(令和4年4月1日現在)【高校 教科別】

| | 国語 | 地理 歴史 | 公民 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 工芸 | 書道 | 保健 体育 | 保健 | 看護 | 家庭 | 情報 | 農業 | 工業 | 商業 | 水産 | 福祉 | 商船 | 職業 指導 | 英語 | 外国 語 | 宗教 |
|-----|-----|----------|-----|-----|-----|----|-----|----|----|----------|----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|----|----|----------|-----|---------|----|
| 大学 | 229 | 237 | 296 | 157 | 173 | 92 | 103 | 42 | 62 | 180 | 37 | 11 | 103 | 219 | 57 | 125 | 148 | 12 | 56 | 1 | 2 | 300 | 51 | 28 |
| 大学院 | 169 | 168 | 193 | 121 | 154 | 89 | 87 | 59 | 60 | 98 | 53 | 37 | 89 | 129 | 65 | 127 | 110 | 41 | 52 | 29 | 29 | 194 | 57 | 51 |
| 専攻科 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 10 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |

教員免許状の授与件数①

(教育人材政策課調べ)

(令和3年度)

| 区 分 | | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 | 養護教諭 | 栄養教諭 | 特別支援学校 自立教科等 | 計 |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-----------------|---------|
| 普通免許状 | 専修免許状 | 226 | 1,421 | 3,826 | 4,693 | 201 | 103 | 9 | | 10,479 |
| | 一種免許状 | 17,234 | 22,903 | 38,292 | 48,379 | 5,412 | 2,770 | 951 | 29 | 135,970 |
| | 二種免許状 | 25,854 | 3,502 | 2,530 | | 6,968 | 1,109 | 440 | 2 | 40,405 |
| | 合計 | 43,314 | 27,826 | 44,648 | 53,072 | 12,581 | 3,982 | 1,400 | 31 | 186,854 |
| 特別免許状 | | | 32 | 83 | 203 | | | | 16 | 334 |
| 臨時免許状 | | 196 | 4,192 | 2,150 | 2,424 | 601 | 146 | | 11 | 9,720 |
| 合計 | | 43,510 | 32,050 | 46,881 | 55,699 | 13,182 | 4,128 | 1,400 | 58 | 196,908 |

※令和3年度に授与権者(都道府県教育委員会)から授与された免許状の数

教員免許状の授与件数②（中学校・教科別）

○標準授業時間数との相対比較では保健体育、音楽、社会の順で授与件数が多く、技術、理科、数学が少ない。

中学校教諭一種免許状・二種免許状の教科別授与件数（令和3年度）

（教育人材政策課調べ）

| 区 分 | | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 保健体育 | 保健 | 技術 | 家庭 | 外国語 | 宗教 | その他 | 計 |
|-----------------------|--|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----|----------------|----------------|---------------|----|-----|--------|
| 一 種 免 許 状 | 大学等における直接養成によるもの | 4,648 | 6,081 | 3,928 | 3,668 | 2,250 | 1,350 | 8,398 | 290 | 449 | 1,078 | 5,758 | 47 | 1 | 37,946 |
| | その他（旧令の学歴資格によるもの、他教科の免許状の取得、外国において授与された免許状等） | 52 | 19 | 35 | 6 | 14 | 9 | 33 | 4 | 7 | 12 | 121 | 9 | 0 | 321 |
| | 小 計 | 4,700 | 6,100 | 3,963 | 3,674 | 2,264 | 1,359 | 8,431 | 294 | 456 | 1,090 | 5,879 | 56 | 1 | 38,267 |
| 二 種 免 許 状 | 大学等における直接養成によるもの | 339 | 192 | 100 | 55 | 153 | 88 | 187 | 3 | 41 | 172 | 481 | 0 | 6 | 1,817 |
| | その他（旧令の学歴資格によるもの、他教科の免許状の取得、外国において授与された免許状等） | 34 | 12 | 22 | 3 | 2 | 3 | 5 | 0 | 17 | 11 | 73 | 7 | 23 | 212 |
| | 小 計 | 373 | 204 | 122 | 58 | 155 | 91 | 192 | 3 | 58 | 183 | 554 | 7 | 29 | 2,029 |
| 合 計 | | 5,073 | 6,304 | 4,085 | 3,732 | 2,419 | 1,450 | 8,623 | 297 | 514 | 1,273 | 6,433 | 63 | 30 | 40,296 |
| 中学3年間の標準授業時数 （※） | | 385 (1.00) | 350 (0.91) | 385 (1.00) | 385 (1.00) | 115 (0.30) | 115 (0.30) | 315 (0.82) | / | 87.5 (0.23) | 87.5 (0.23) | 420 (1.09) | / | / | / |

※）標準授業時数の（ ）は、中学校3学年分の標準授業時数について、国語を「1」とした場合の相対的な数値。

（注） その他には、職業、職業指導、職業実習を含む。

教員免許状の授与件数②（高校・教科別）

（教育人材政策課調べ）

○高等学校教諭一種普通免許状の教科別授与件数（令和3年度）

| 区分 | 国語 | 地理 歴史 | 公民 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 工芸 | 書道 | 保健 体育 | 保健 | 看護 | 家庭 | 情報 | 農業 | 工業 | 商業 | 水産 | 福祉 | 外国 語 | 宗教 | その他 | 計 |
|--|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|----------|-----|----|-------|-------|-----|-------|-----|----|-----|---------|----|-----|--------|
| 大学等における直接養成によるもの | 4,645 | 4,844 | 4,781 | 4,204 | 4,761 | 2,342 | 1,429 | 267 | 468 | 8,843 | 289 | 62 | 1,060 | 933 | 364 | 1,103 | 508 | 51 | 124 | 5,784 | 61 | 5 | 46,928 |
| 教員資格認定試験によるもの | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | 0 | / | 0 | / | / | / | / | 0 | / | / | 0 | 0 |
| その他（旧令の学歴資格によるもの、他教科の免許状の取得、外国において授与された免許状等） | 84 | 171 | 203 | 77 | 18 | 18 | 11 | 4 | 57 | 61 | 4 | 0 | 26 | 333 | 4 | 41 | 34 | 2 | 2 | 144 | 15 | 37 | 1,346 |
| 計 | 4,729 | 5,015 | 4,984 | 4,281 | 4,779 | 2,360 | 1,440 | 271 | 525 | 8,904 | 293 | 62 | 1,086 | 1,266 | 368 | 1,144 | 542 | 53 | 126 | 5,928 | 76 | 42 | 48,274 |

（注） その他には、看護実習、家庭実習、情報実習、農業実習、工業実習、商業実習、水産実習、福祉実習、商船、商船実習、職業指導を含む。

公立学校教員の採用状況①

(教育人材政策課調べ)

○公立学校教員の受験者数及び採用者数(令和4年度)

| 区 分 | 受験者数 | | 採用者数 | | 競争率 (採用倍率) |
|--------|---------|--------|--------|--------|---------------|
| | | 女性(内数) | | 女性(内数) | |
| 小学校 | 40,636 | 16,019 | 16,152 | 8,170 | 2.5 |
| 中学校 | 42,587 | 11,354 | 9,140 | 3,475 | 4.7 |
| 高等学校 | 23,991 | 5,358 | 4,479 | 1,393 | 5.4 |
| 特別支援学校 | 8,529 | 3,245 | 3,063 | 1,611 | 2.8 |
| 養護教諭 | 9,051 | 1,169 | 1,263 | 1,067 | 7.2 |
| 栄養教諭 | 1,597 | 1,169 | 177 | 153 | 9.0 |
| 計 | 126,391 | 38,314 | 34,274 | 15,869 | 3.7 |

- (注) 1. 採用者数は、令和4年4月1日から6月1日までに採用された数である。
 2. 小学校と中学校の試験区分を一部分けずに採用選考を行っている県市の受験者数は、中学校の受験者数に含んでいる。
 3. 中学校と高等学校の試験区分を(一部)分けずに選考を行っている県市の受験者数は、中学校の受験者数に含んでいる。
 4. 特別支援学校の受験者数は、「特別支援学校」の区分で採用選考を実施している県市の数値のみを集計したものである。
 5. 女性(内数)は、受験者・採用者の男女別内訳を把握している県市の数値のみを集計したものである。
 6. 競争率(採用倍率)は、受験者数÷採用者数である。

公立学校教員の採用状況②

(教育人材政策課調べ)

中学校教科別受験者数・採用者数・採用倍率 中学校 (令和4年度)

| 区分 縣市名 | 国語 | | | 社会 | | | 数学 | | | 理科 | | | 音楽 | | | 美術 | | |
|-----------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 |
| 合計 | 4,211 | 1,228 | 3.4 | 7,641 | 1,235 | 6.2 | 5,797 | 1,333 | 4.3 | 3,908 | 1,244 | 3.1 | 2,486 | 498 | 5.0 | 1,194 | 361 | 3.3 |
| | (4347) | (1403) | (3.1) | (7833) | (1288) | (6.1) | (6038) | (1474) | (4.1) | (4270) | (1272) | (3.4) | (2603) | (581) | (4.5) | (1283) | (409) | (3.1) |

| 区分 縣市名 | 家庭 | | | 技術 | | | 保体 | | | 英語 | | | その他 | | | 合計 | | |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|-------|
| | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 |
| 合計 | 851 | 316 | 2.7 | 498 | 232 | 2.1 | 10,313 | 1,065 | 9.7 | 5,257 | 1,467 | 3.6 | 431 | 161 | 2.7 | 42,587 | 9,140 | 4.7 |
| | (1118) | (403) | (2.8) | (551) | (238) | (2.3) | (10267) | (1279) | (8.0) | (5368) | (1547) | (3.5) | (427) | (155) | (2.8) | (44105) | (10049) | (4.4) |

(注1) ()内の数字は、前年度の数値である。

(注2) その他には、中高一括募集している場合の高等学校のみ存在する教科の受験者数や、小中一括募集での受験者数を含む。

公立学校教員の採用状況③

○高等学校教科別受験者数・採用者数・採用倍率 高等学校（令和4年度）

（教育人材政策課調べ）

| 区分 県市名 | 国語 | | | 地理歴史 | | | 公民 | | | 数学 | | | 理科 | | |
|-----------|-----------------|--------------|--------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------|--------------|--------------|-----------------|--------------|--------------|
| | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 |
| 合計 | 2,229 (2526) | 619 (594) | 3.6 (4.3) | 2,965 (3173) | 470 (388) | 6.3 (8.2) | 837 (909) | 107 (82) | 7.8 (11.1) | 3,402 (3730) | 543 (472) | 6.3 (7.9) | 2,934 (3085) | 495 (424) | 5.9 (7.3) |

| 区分 県市名 | 音楽 | | | 美術 | | | 工芸 | | | 書道 | | | 保体 | | | 看護 | | |
|-----------|--------------|------------|--------------|--------------|------------|--------------|------|------|-----|--------------|------------|--------------|-----------------|--------------|----------------|------------|------------|--------------|
| | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 |
| 合計 | 402 (437) | 71 (63) | 5.7 (6.9) | 337 (379) | 69 (54) | 4.9 (7.0) | | | - | 307 (282) | 44 (33) | 7.0 (8.5) | 4,484 (5177) | 440 (379) | 10.2 (13.7) | 22 (36) | 13 (19) | 1.7 (1.9) |

| 区分 県市名 | 家庭 | | | 農業 | | | 工業 | | | 商業 | | | 水産 | | |
|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|------------|------------|--------------|
| | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 |
| 合計 | 516 (615) | 146 (154) | 3.5 (4.0) | 510 (578) | 111 (117) | 4.6 (4.9) | 889 (1042) | 304 (287) | 2.9 (3.6) | 923 (1050) | 145 (142) | 6.4 (7.4) | 44 (54) | 21 (23) | 2.1 (2.3) |

| 区分 県市名 | 情報 | | | 福祉 | | | 英語 | | | その他 | | | 合計 | | |
|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|------------|--------------|-----------------|--------------|--------------|----------|----------|--------------|-------------------|-----------------|--------------|
| | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 |
| 合計 | 525 (543) | 112 (78) | 4.7 (7.0) | 88 (119) | 25 (31) | 3.5 (3.8) | 2,151 (2423) | 654 (615) | 3.3 (3.9) | 8 (5) | 5 (1) | 1.6 (5.0) | 23,162 (26163) | 4,339 (3956) | 5.3 (6.6) |

（注1）中学校・高等学校の採用を（一部）区分を分けずに募集している場合、受験人数は中学校の受験人数に含む。

（注2）（ ）内の数字は、前年度の数値である。

（注3）その他には、複数の科目について免許を持つ者が応募できる区分の受験者などが含まれる。

臨時免許状の授与件数（中高・教科別）

（教育人材政策課調べ）

○中学校（令和3年度）

| 区分 | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 保健 体育 | 保健 | 技術 | 家庭 | 外国 語 | 宗教 | その 他 | 計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|----|-----|----------|----|-----|-----|---------|----|---------|-------|
| 令和元年度 | 175 | 174 | 211 | 223 | 45 | 139 | 111 | 23 | 350 | 279 | 268 | 11 | 1 | 2,010 |
| 令和2年度 | 177 | 159 | 224 | 191 | 77 | 150 | 109 | 9 | 316 | 260 | 294 | 10 | 0 | 1,976 |
| 令和3年度 | 184 | 169 | 223 | 224 | 68 | 170 | 124 | 20 | 342 | 289 | 225 | 13 | 0 | 2,051 |

○高等学校（令和3年度）

| 区分 | 国語 | 地理 歴史 | 公民 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 工芸 | 書道 | 保健 体育 | 保健 | 看護 | 家庭 | 情報 | 農業 | 工業 | 商業 | 水産 | 福祉 | 外国 語 | 宗教 | その 他 | 計 |
|-------|-----|----------|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----------|----|-----|-----|-----|----|-----|----|----|----|---------|----|---------|-------|
| 令和元年度 | 80 | 88 | 126 | 100 | 83 | 74 | 67 | 12 | 69 | 77 | 21 | 276 | 208 | 221 | 63 | 161 | 55 | 31 | 88 | 330 | 19 | 48 | 2,297 |
| 令和2年度 | 86 | 81 | 111 | 114 | 82 | 106 | 80 | 14 | 52 | 61 | 14 | 239 | 230 | 258 | 60 | 171 | 68 | 36 | 92 | 353 | 23 | 33 | 2,364 |
| 令和3年度 | 112 | 83 | 96 | 99 | 104 | 74 | 66 | 13 | 65 | 65 | 26 | 303 | 261 | 221 | 68 | 182 | 77 | 36 | 67 | 349 | 18 | 39 | 2,424 |

免許外教科担任の許可件数（中高・教科別）

（教育人材政策課調べ）

○中学校（令和3年度）

| 区 分 | 計 |
|----------------------|-------|
| 国 語 | 364 |
| 社 会 | 230 |
| 数 学 | 349 |
| 理 科 | 209 |
| 音 楽 | 83 |
| 美 術 | 861 |
| 保 健 体 育 | 284 |
| 保 健 | 5 |
| 技 術 | 2,031 |
| 家 庭 | 1,989 |
| 職 業 | 0 |
| 職 業 指 導 | 0 |
| 職 業 実 習 | 0 |
| 外 国 語 （ 英 語 ） | 183 |
| 外 国 語 （ 英 語 以 外 ） | 0 |
| 宗 教 | 1 |
| 複 数 | 0 |
| そ の 他 | 0 |
| 計 | 6,589 |

3年度）

| 区 分 | 合 計 |
|---------|-------|
| 国 語 | 75 |
| 地 理 歴 史 | 229 |
| 公 民 | 366 |
| 数 学 | 108 |
| 理 科 | 80 |
| 音 楽 | 17 |
| 美 術 | 47 |
| 工 芸 | 46 |
| 書 道 | 125 |
| 保 健 体 育 | 114 |
| 保 健 | 4 |
| 看 護 | 20 |
| 家 庭 | 231 |
| 情 報 | 1,037 |
| 農 業 | 172 |
| 工 業 | 275 |
| 商 業 | 105 |
| 水 産 | 100 |
| 福 祉 | 149 |
| 商 船 | 0 |

| 区 分 | 合 計 |
|----------------------|-------|
| 外 国 語（ 英 語 ） | 51 |
| 外 国 語 （ 英 語 以 外 ） | 126 |
| 宗 教 | 7 |
| 看 護 実 習 | 0 |
| 家 庭 実 習 | 0 |
| 情 報 実 習 | 0 |
| 農 業 実 習 | 0 |
| 工 業 実 習 | 2 |
| 商 業 実 習 | 0 |
| 水 産 実 習 | 1 |
| 福 祉 実 習 | 0 |
| 商 船 実 習 | 0 |
| 職 業 指 導 | 4 |
| 複 数 | 0 |
| そ の 他 | 2 |
| 計 | 3,493 |

高等学校家庭科の科目の変遷

昭和35年改訂

昭和45年改訂

昭和53年改訂

平成元年改訂

平成11年改訂

平成21年改訂

平成30年改訂

| | |
|--------|---|
| 家庭一般 | 4 |
| 女子のみ必修 | |

| | |
|--------|---|
| 家庭一般 | 4 |
| 女子のみ必修 | |

| | |
|--------|---|
| 家庭一般 | 4 |
| 女子のみ必修 | |

| | |
|------|---|
| 家庭一般 | 4 |
| 生活技術 | 4 |
| 生活一般 | 4 |
| 男女必修 | |

| | |
|------|---|
| 普通科目 | |
| 家庭基礎 | 2 |
| 家庭総合 | 4 |
| 生活技術 | 4 |

| | |
|--------|---|
| 共通科目 | |
| 家庭基礎 | 2 |
| 家庭総合 | 4 |
| 生活デザイン | 4 |

| | | |
|------|---|------|
| 共通科目 | | 必修科目 |
| 家庭基礎 | 2 | 必修科目 |
| 家庭総合 | 4 | 必修科目 |

*各科目の標準単位数は、「家庭一般」以外は設置者の定めるところによるものとする

家政科に対応した科目

- 被服Ⅰ
- 被服Ⅱ
- 食物Ⅰ
- 食物Ⅱ
- 保育
- 家庭経営

- 被服Ⅰ
- 被服Ⅱ
- 食物Ⅰ
- 食物Ⅱ
- 保育
- 家庭経営

- 被服
- 食物
- 保育
- 家庭経営・住居

原則履修科目

- 家庭情報処理
- 課題研究

専門科目

- 生活産業基礎
- 課題研究
- 家庭情報処理

専門科目

- 生活産業基礎
- 課題研究
- 生活産業情報

専門科目

- 生活産業基礎
- 課題研究
- 生活産業情報

被服科に対応した科目

- 被服材料
- 被服経理
- 意匠
- 被服製作
- 手芸

- 被服材料
- 被服管理
- 服飾デザイン
- 服飾史
- 被服製作
- 手芸

- 被服製作
- 被服材料
- 被服管理
- 服飾デザイン
- 手芸

- 被服
- 食物
- 保育
- 家庭経営
- 住居
- 家庭看護・福祉
- 消費経済

- 消費生活
- 家庭看護・福祉
- リビングデザイン

- 消費生活
- 生活と福祉
- リビングデザイン

- 消費生活
 - 生活と福祉
 - 住生活デザイン
- 名称変更

食物科に対応した科目

- 栄養
- 食品
- 食品衛生
- 食物経理
- 献立・調理
- 大量炊事

- 栄養
- 食品
- 食品衛生
- 食物管理
- 献立・調理
- 集団給食
- 公衆衛生

- 調理
- 栄養
- 食品
- 食品衛生
- 公衆衛生

- 被服製作
- 被服材料
- 被服管理
- 服飾デザイン
- 手芸

- 服飾文化
- 被服製作
- ファッションデザイン
- 服飾手芸

- 服飾文化
- ファッション造形基礎
- ファッション造形
- ファッションデザイン
- 服飾手芸

- 服飾文化
- ファッション造形基礎
- ファッション造形
- ファッションデザイン
- 服飾手芸

保育科に対応した科目

- 小児保健
- 児童心理
- 児童福祉
- 保育原理
- 保育技術

- 小児保健
- 児童心理
- 児童福祉
- 保育原理
- 保育技術

- 保育原理・技術
- 小児保健
- 児童心理
- 児童福祉

- 調理
- 栄養
- 食品
- 食品衛生
- 公衆衛生

- フードデザイン
- 食文化
- 調理
- 栄養
- 食品
- 食品衛生
- 公衆衛生

- フードデザイン
- 食文化
- 調理
- 栄養
- 食品
- 食品衛生
- 公衆衛生

- フードデザイン
- 食文化
- 調理
- 栄養
- 食品
- 食品衛生
- 公衆衛生

調理師養成課程科目

調理師養成課程科目

総合調理実習
調理師養成課程科目

新設

- 発達と保育
- 児童文化

- 子どもの発達と保育
- 子ども文化

- 保育基礎
 - 保育実践
- 整理統合
整理統合

その他科目

その他科目

その他科目

その他科目

学校設定科目

学校設定科目

学校設定科目

高等学校家庭科の科目及び学習内容の変遷（共通科目）

改訂（告示）年

S35
(※女子のみ)

| 家庭一般(4単位) |
|--|
| (1)家庭生活と家庭経営 (2)計画的な経済生活 (3)能率的な家庭生活 (4)食生活の経営 (5)衣生活の経営 (6)住生活の経営 (7)乳幼児の保育 (8)家庭生活の改善向上 |

S45
(※女子のみ)

| 家庭一般(4単位) |
|---|
| (1)家族と家庭経営 (2)家族の生活時間と労力 (3)家庭の経済生活 (4)食生活の経営 (5)衣生活の経営 (6)住生活の経営 (7)乳幼児の保育 |

S53
(※女子のみ)

| 家庭一般(4単位) |
|---|
| (1)家庭生活の設計・家族 (2)衣生活の設計・被服製作 (3)食生活の設計・調理 (4)住生活の設計・住居の管理 (5)母性の健康・乳幼児の保育 (6)ホームプロジェクト・学校家庭クラブ |

※3科目のうち1科目を必修

H元
(※以降、男女共修)

| 家庭一般(4単位) | 生活技術(4単位) | 生活一般(4単位) |
|--|---|--|
| (1)家族と家庭生活 (2)家庭経済と消費 (3)衣生活の設計と被服製作 (4)食生活の設計と調理 (5)住生活の設計と住居の管理 (6)乳幼児の保育と親の役割 (7)ホームプロジェクトの実践と学校家庭クラブ活動 | (1)家族と家庭生活 (2)子供の成長と親の役割 (3)家庭経済と消費 (4)衣食住の生活管理と技術 (5)家庭生活と情報 (6)家庭生活と電気・機械 (7)ホームプロジェクトの実践と学校家庭クラブ活動 (8)家庭園芸 ※(5)(6)の代替 | (1)家族と家庭生活 (2)子供の成長と親の役割 (3)家庭経済と消費 (4)家族の健康管理 (5)衣生活と被服製作 (6)食生活と調理 (7)住生活と住居の計画 (8)乳幼児の保育 (9)家庭生活と情報 (10)ホームプロジェクトの実践と学校家庭クラブ活動 |

H11

| 家庭基礎(2単位) | 家庭総合(4単位) | 生活技術(4単位) | ※3科目のうち1科目を必修 |
|--|--|--|----------------|
| (1)人の一生と家族・福祉 (2)家族の生活と健康 (3)消費生活と環境 (4)ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | (1)人の一生と家族・家庭 (2)子どもの発達と保育・福祉 (3)高齢者の生活と福祉 (4)生活の科学と文化 (5)消費生活と資源・環境 (6)ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | (1)人の一生と家族・福祉 (2)消費生活と環境 (3)家庭生活と技術革新 (4)食生活の設計と調理 (5)衣生活の設計と製作 (6)住生活の設計とインテリアデザイン (7)ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | 「家庭生活と電気・機械」含む |

H21

| 家庭基礎(2単位) | 家庭総合(4単位) | 生活デザイン(4単位) | ※3科目のうち1科目を必修 |
|--|--|--|---------------|
| (1)人の一生と家族・家庭及び福祉 (2)生活の自立及び消費と環境 (3)ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | (1)人の一生と家族・家庭 (2)子どもや高齢者とのかかわりと福祉 (3)生活における経済の計画と消費 (4)生活の科学と環境 (5)生涯の生活設計 (6)ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | (1)人の一生と家族・家庭及び福祉 (2)消費や環境に配慮したライフスタイルの確立 (3)食生活の設計と創造 (4)衣生活の設計と創造 (5)住生活の設計と創造 (6)ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | |

H30
現行

| 家庭基礎(2単位) | 家庭総合(4単位) | ※2科目のうち1科目を必修 |
|---|---|---------------|
| A人の一生と家族・家庭及び福祉 B衣食住の生活の自立と設計 C持続可能な消費生活・環境 Dホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | A人の一生と家族・家庭及び福祉 B衣食住の生活の科学と文化 C持続可能な消費生活・環境 Dホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | |

中一種免（家庭）

| 認定を受けようとする免許状の種類（免許教科） | 施行規則に定める科目区分等 | | 左記に対応する開設授業科目 | | | | |
|--|--|-------------------------|---------------------------|-------|----|-------|-----|
| | 科目区分 | 各科目に含めることが必要な事項 | 授業科目 | 単位数 | | 共通開設 | |
| | | | | 必修 | 選択 | 学校種等 | 学科等 |
| 中一種免 （家庭） | 教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目 | 家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。） | 家庭経営学概論（家族関係学及び家庭経済学を含む。） | 2 | | 高（家庭） | 同 |
| | | | 消費生活論 | | 2 | 高（家庭） | 同 |
| | | | 家庭経営学演習 | | 2 | 高（家庭） | 同 |
| | | | 生活課題の調査と分析 | | 1 | 高（家庭） | 同 |
| | | 被服学（被服製作実習を含む。） | 被服学概論（被服製作実習を含む。） | 2 | | 高（家庭） | 同 |
| | | | 衣生活学 | | 2 | 高（家庭） | 同 |
| | | | 被服学実験 | | 1 | 高（家庭） | 同 |
| | | | 被服構成実習 | | 1 | 高（家庭） | 同 |
| | | 食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。） | 食物学概論（栄養学、食品学及び調理実習を含む。） | 2 | | 高（家庭） | 同 |
| | | | 食品栄養学 | | 2 | 高（家庭） | 同 |
| | | | 調理実習 | | 1 | 高（家庭） | 同 |
| | | | 食物学実験 | | 1 | 高（家庭） | 同 |
| | | | 食物学特論 | | 1 | 高（家庭） | 同 |
| | | | 食物学総論 | | 1 | 高（家庭） | 同 |
| | | 住居学 | 住居学概論（製図を含む。） | 2 | | 高（家庭） | 同 |
| 住生活学 | | | 2 | 高（家庭） | 同 | | |
| 住居設計・製図 | | | 2 | 高（家庭） | 同 | | |
| 保育学（実習を含む。） | 保育学 | 2 | | 高（家庭） | 同 | | |
| | 保育学Ⅱ | | 2 | 高（家庭） | 同 | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 | 家庭科内容構成 | | 2 | 高（家庭） | 同 | | |
| | 持続可能な生活づくり | | 2 | 高（家庭） | 同 | | |
| 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 中等家庭科教育論 | | 2 | 高（家庭） | 同 | | |
| | 中等家庭科授業論 | | 2 | 高（家庭） | 同 | | |
| | 中等家庭科教材論 | | 2 | 高（家庭） | 同 | | |
| | 中等家庭科教育特論 | | 2 | 高（家庭） | 同 | | |
| | 中等家庭科実践研究 | | 2 | 高（家庭） | 同 | | |
| | 中等家庭科指導法Ⅰ | | 2 | 高（家庭） | 同 | | |
| ●単位数 A. 教員の免許状取得のための開設総単位数 5 5 単位 B. 共通開設単位数（他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。） 0 単位 C. 教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 2 8 単位 D. 教員の免許状取得のための選択科目 2 7 単位 | | | | | | | |

高一種免（家庭）

| 認定を受けようとする免許状の種類（免許教科） | 施行規則に定める科目区分等 | | 左記に対応する開設授業科目 | | | | |
|---|--|-------------------------|---------------------------|-----------|----|-----------|-----|
| | 科目区分 | 各科目に含めることが必要な事項 | 授業科目 | 単位数 | | 共通開設 | |
| | | | | 必修 | 選択 | 学校種等 | 学科等 |
| 高一種免 (家庭) | 教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目 | 家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。） | 家庭経営学概論（家族関係学及び家庭経済学を含む。） | 2 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 消費生活論 | 2 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 家庭経営学演習 | 2 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 生活課題の調査と分析 | 1 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 家庭経営学 | 2 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | 被服学（被服製作実習を含む。） | 被服学概論（被服製作実習を含む。） | 2 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 衣生活学 | 2 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 被服学実験 | 1 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 被服構成実習 | 1 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | 食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。） | 食物学概論（栄養学、食品学及び調理実習を含む。） | 2 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 食品栄養学 | 2 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 調理実習 | 1 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 食物学実験 | 1 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 食物学特論 | 1 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 食物学総論 | 1 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | | 食物学Ⅱ | 2 | | 中 (家庭) | 同 |
| | | 住居学（製図を含む。） | 住居学概論（製図を含む。） | 2 | | 中 (家庭) | 同 |
| 住生活学 | 2 | | | 中 (家庭) | 同 | | |
| 住居設計・製図 | 2 | | | 中 (家庭) | 同 | | |
| 保育学（実習を含む。） | 住居学 | 2 | | 中 (家庭) | 同 | | |
| | 保育学 | 2 | | 中 (家庭) | 同 | | |
| 家庭電気・家庭機械・情報処理 | 保育学Ⅱ | 2 | | 中 (家庭) | 同 | | |
| | 家庭電気・機械及び情報処理 | 2 | | | 同 | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 | 家庭科内容構成 | 2 | | 中 (家庭) | 同 | | |
| | 持続可能な生活づくり | 2 | | 中 (家庭) | 同 | | |
| 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 中等家庭科教育論 | 2 | | 中 (家庭) | 同 | | |
| | 中等家庭科授業論 | 2 | | 中 (家庭) | 同 | | |
| | 中等家庭科教材論 | 2 | | 中 (家庭) | 同 | | |
| | 中等家庭科教育特論 | 2 | | 中 (家庭) | 同 | | |
| | 中等家庭科実践研究 | 2 | | 中 (家庭) | 同 | | |
| | 中等家庭科指導法Ⅰ | 2 | | 中 (家庭) | 同 | | |
| <p>●単位数 A. 教員の免許状取得のための開設総単位数 5 7 単位</p> <p>B. 共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。) 0 単位</p> <p>C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) 2 4 単位</p> <p>D. 教員の免許状取得のための選択科目 3 3 単位</p> | | | | | | | |

中一種免（家庭）

| 認定を受けようとする免許状の種類（免許教科） | 施行規則に定める科目区分等 | | 左記に対応する開設授業科目 | | | | |
|--|---------------------------------------|-------------------------|----------------------|-------|-------|-------|-----|
| | 科目区分 | 各科目に含めることが必要な事項 | 授業科目 | 単位数 | | 共通開設 | |
| | | | | 必修 | 選択 | 学校種等 | 学科等 |
| 中一種免 (家庭) | 教科及び教員の指導法に関する科目 | 家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。） | 生活経営学 (生活経済学を含む。) | 2 | | 高(家庭) | 同 |
| | | | 家族関係学 (生活福祉を含む。) | 2 | | 高(家庭) | 同 |
| | | 被服学（被服製作実習を含む。） | 被服学 | 2 | | 高(家庭) | 同 |
| | | | 被服構成学実習Ⅰ | 1 | | 高(家庭) | 同 |
| | | | 被服構成学 | 2 | | 高(家庭) | 同 |
| | | | 被服科学 | | 2 | 高(家庭) | 同 |
| | | 食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。） | 食物学 | 2 | | 高(家庭) | 同 |
| | | | 栄養学 | 2 | | 高(家庭) | 同 |
| | | | 食品学 | 2 | | 高(家庭) | 同 |
| | | | 調理学 | 2 | | 高(家庭) | 同 |
| 調理学実習Ⅰ | 1 | | | 高(家庭) | 同 | | |
| 住居学 | 住居学（製図を含む。) | 2 | | 高(家庭) | 同 | | |
| | インテリア計画 | 2 | | 高(家庭) | 同 | | |
| | 住居管理学 | | 2 | 高(家庭) | 同 | | |
| 保育学（実習を含む。） | 保育学 (実習及び家庭看護を含む。) | 2 | | 高(家庭) | 同 | | |
| | 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 | | | | | | |
| | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 家庭科教育法Ⅰ | 2 | | 高(家庭) | 同 | |
| | | 家庭科教育法Ⅱ | 2 | | 高(家庭) | 同 | |
| | | 家庭科教育法Ⅲ | 2 | | 高(家庭) | 同 | |
| | | 家庭科教育法Ⅳ | 2 | | 高(家庭) | 同 | |
| ●単位数 A. 教員の免許状取得のための開設総単位数 | | | 36 単位 | | | | |
| B. 共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。) | | | 0 単位 | | | | |
| C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) | | | 32 単位 | | | | |
| D. 教員の免許状取得のための選択科目 | | | 4 単位 | | | | |

高一種免（家庭）

| 認定を受けようとする免許状の種類（免許教科） | 施行規則に定める科目区分等 | | 左記に対応する開設授業科目 | | | | |
|--|---|--|-------------------------------------|-----------|--|------------------|-----|
| | 科目区分 | 各科目に含めることが必要な事項 | 授業科目 | 単位数 | | 共通開設 | |
| | | | | 必修 | 選択 | 学校種等 | 学科等 |
| 高一種免 (家庭) | 教科 及 び 専 門 的 事 項 の 指 導 法 に 関 する 科 目 | 家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。） | 生活経営学 <small>（生活経済学を含む。）</small> | 2 | | 中 （家庭） | 同 |
| | | | 家族関係学 <small>（生活福祉を含む。）</small> | 2 | | 中 （家庭） | 同 |
| | | 被服学（被服製作実習を含む。） | 被服学 | 2 | | 中 （家庭） | 同 |
| | | | 被服構成学実習Ⅰ | 1 | | 中 （家庭） | 同 |
| | | | 被服構成学 | 2 | | 中 （家庭） | 同 |
| | | | 被服科学 | | 2 | 中 （家庭） | 同 |
| | | 食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。） | 食物学 | 2 | | 中 （家庭） | 同 |
| | | | 栄養学 | 2 | | 中 （家庭） | 同 |
| | | | 食品学 | 2 | | 中 （家庭） | 同 |
| | | | 調理学 | 2 | | 中 （家庭） | 同 |
| | | | 調理学実習Ⅰ | 1 | | 中 （家庭） | 同 |
| 住居学（製図を含む。） | 住居学（製図を含む。） | 2 | | 中 （家庭） | 同 | | |
| | インテリア計画 | 2 | | 中 （家庭） | 同 | | |
| | 住居管理学 | | 2 | 中 （家庭） | 同 | | |
| 保育学（実習及び家庭看護を含む。） | 保育学 <small>（実習及び家庭看護を含む。）</small> | 2 | | 中 （家庭） | 同 | | |
| 家庭電気・家庭機械・情報処理 | 家庭電気・機械 家庭科情報処理演習 | 2 1 | | | | | |
| | 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 | | | | | | |
| | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 家庭科教育法Ⅰ 家庭科教育法Ⅱ 家庭科教育法Ⅲ 家庭科教育法Ⅳ | 2 2 2 2 | | 中 （家庭） 中 （家庭） 中 （家庭） 中 （家庭） | 同 同 同 同 | |
| ●単位数 A. 教員の免許状取得のための開設総単位数 | | | | | | 39 単位 | |
| B. 共通開設単位数 (他学科等の科目をあてる場合の単位数を含む。) | | | | | | 0 単位 | |
| C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) | | | | | | 33 単位 | |
| D. 教員の免許状取得のための選択科目 | | | | | | 6 単位 | |

論点例

家庭について

| 中学校 | | 高等学校 | |
|-----|-------------------------|------|-------------------------|
| 1 | 家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。） | 1 | 家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。） |
| 2 | 被服学（被服製作実習を含む。） | 2 | 被服学（被服製作実習を含む。） |
| 3 | 食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。） | 3 | 食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。） |
| 4 | 住居学 | 4 | 住居学（製図を含む。） |
| 5 | 保育学（実習を含む。） | 5 | 保育学（実習及び家庭看護を含む。） |
| | | 6 | 家庭電気・家庭機械・情報処理 |

- ・ 教科に関する専門的事項に関する科目区分の区分数の在り方について
- ・ 科目区分の内容（学習指導要領との関係）について
- ・ 教科に関する専門的事項に関する科目区分全般における記述の在り方について

教科の専門的事項に関する科目区分の記述について

- 教育職員免許法施行規則(以下、「規則」という。)に定める中学校及び高等学校の教科の専門的事項に関する科目(以下、「教科専門科目区分」という。)については、各教科に関する専門性を深めるために修得すべき内容を記述している。
- また、教科専門科目区分における記述内容は、時代の変化等を受け変遷してきており、例えば、学習指導要領で取り扱うべき新たな内容等も踏まえ、各科目区分に、「(▲▲を含む。)」という記述が追加されてきた経緯がある。このため、改正によって、「(▲▲を含む。)」の記述は増える傾向がある。
- なお、各科目区分における内容の記述は、概ね、それぞれの学問分野や領域に対応した区分名称となっているが、これに加え、① 当該科目区分に、特に含めるべき詳細の内容を記述しているものと、② その科目区分を実施する上での手法的な要素を記述しているものが混在している。

| | 教科 | 科目区分 |
|-----|---------------------|--|
| ①の例 | ・国語 ・社会 ・保健体育 | ・国文学(国文学史を含む。) ・地理学(地誌を含む。) ・生理学(運動生理学を含む。) |
| ②の例 | ・理科 ・技術 ・家庭 | ・物理学実験(コンピュータ活用含む。) ・機械(実習を含む。) ・保育学(実習を含む。) |

教科に関する専門的事項に関する科目区分一覧(中学校)

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|--------------------|-------|--|
| 国語 | 4 | 国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。) |
| | | 国文学(国文学史を含む。) |
| | | 漢文学 |
| | | 書道(書写を中心とする。) |
| 社会 | 5 | 日本史・外国史 |
| | | 地理学(地誌を含む。) |
| | | 「法律学、政治学」 |
| | | 「社会学、経済学」 |
| | | 「哲学、倫理学、宗教学」 |
| 数学 | 5 | 代数学 |
| | | 幾何学 |
| | | 解析学 |
| | | 「確率論、統計学」 |
| | | コンピュータ |
| 理科 | 8 | 物理学 |
| | | 物理学実験(コンピュータ活用を含む。) |
| | | 化学 |
| | | 化学実験(コンピュータ活用を含む。) |
| | | 生物学 |
| | | 生物学実験(コンピュータ活用を含む。) |
| | | 地学 |
| 地学実験(コンピュータ活用を含む。) | | |
| 音楽 | 5 | ソルフェージュ |
| | | 声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。) |
| | | 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。) |
| | | 指揮法 |
| | | 音楽理論・作曲法(編曲法を含む。) ・音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。) |
| 美術 | 5 | 絵画(映像メディア表現を含む。) |
| | | 彫塑 |
| | | デザイン(映像メディア表現を含む。) |
| | | 工芸 |
| | | 美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。) |

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|-------------------|-------|---|
| 保健体育 | 5 | 体育実技 |
| | | 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。) |
| | | 生理学(運動生理学を含む。) |
| | | 衛生学・公衆衛生学 |
| | | 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。) |
| 保健 | 3 | 生理学・栄養学 |
| | | 衛生学・公衆衛生学 |
| | | 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。) |
| 技術 | 6 | 木材加工(製図及び実習を含む。) |
| | | 金属加工(製図及び実習を含む。) |
| | | 機械(実習を含む。) |
| | | 電気(実習を含む。) |
| | | 栽培(実習を含む。) |
| 情報とコンピュータ(実習を含む。) | | |
| 家庭 | 5 | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) |
| | | 被服学(被服製作実習を含む。) |
| | | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) |
| | | 住居学 |
| | | 保育学(実習を含む。) |
| 職業 | 4 | 産業概説 |
| | | 職業指導 |
| | | 「農業、工業、商業、水産」 |
| | | 「農業実習、工業実習、商業実習、水産実習、商船実習」 |
| 職業指導 | 3 | 職業指導 |
| | | 職業指導の技術 |
| | | 職業指導の運営管理 |
| 英語 | 4 | 英語学 |
| | | 英米文学 |
| | | 英語コミュニケーション |
| | | 異文化理解 |
| 宗教 | 3 | 宗教学 |
| | | 宗教史 |
| | | 「教理学、哲学」 |

教科に関する専門的事項に関する科目区分一覧(高校)

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|------|-------|---|
| 国語 | 3 | 国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。) |
| | | 国文学(国文学史を含む。) |
| | | 漢文学 |
| 地理歴史 | 4 | 日本史 |
| | | 外国史 |
| | | 人文地理学・自然地理学 |
| | | 地誌 |
| 公民 | 3 | 「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」 |
| | | 「社会学、経済学(国際経済を含む。)」 |
| | | 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 |
| 数学 | 5 | 代数学 |
| | | 幾何学 |
| | | 解析学 |
| | | 「確率論、統計学」 |
| | | コンピュータ |
| 理科 | 5 | 物理学 |
| | | 化学 |
| | | 生物学 |
| | | 地学 |
| | | 「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」 |
| 音楽 | 5 | ソルフェージュ |
| | | 声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。) |
| | | 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。) |
| | | 指揮法 |
| | | 音楽理論・作曲法(編曲法を含む。)、音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。) |
| 美術 | 4 | 絵画(映像メディア表現を含む。) |
| | | 彫塑 |
| | | デザイン(映像メディア表現を含む。) |
| | | 美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。) |
| 工芸 | 4 | 図法・製図 |
| | | デザイン |
| | | 工芸制作(プロダクト制作を含む。) |
| | | 工芸理論・デザイン理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。) |
| 書道 | 4 | 書道(書写を含む。) |
| | | 書道史 |
| | | 「書論、鑑賞」 |
| | | 「国文学、漢文学」 |
| 保健体育 | 5 | 体育実技 |
| | | 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。) |
| | | 生理学(運動生理学を含む。) |
| | | 衛生学・公衆衛生学 |
| | | 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。) |
| 保健 | 3 | 「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」 |
| | | 衛生学・公衆衛生学 |
| | | 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。) |

| 教科名 | 科目区分数 | 教科に関する専門的事項に関する科目 |
|-------------------|----------|---|
| 看護 | 3 | 「生理学、生化学、病理学、微生物学、薬理学」 |
| | | 看護学(成人看護学、老年看護学及び母子看護学を含む。) |
| | | 看護実習 |
| 情報 | 6 | 情報社会・情報倫理 |
| | | コンピュータ・情報処理(実習を含む。) |
| | | 情報システム(実習を含む。) |
| | | 情報通信ネットワーク(実習を含む。) |
| | | マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。) |
| 情報と職業 | | |
| 農業 | 2 | 農業の関係科目 |
| | | 職業指導 |
| 工業 | 2 | 工業の関係科目 |
| | | 職業指導 |
| 商業 | 2 | 商業の関係科目 |
| | | 職業指導 |
| 水産 | 2 | 水産の関係科目 |
| | | 職業指導 |
| 福祉 | 7 (※) | 社会福祉学(職業指導を含む。) |
| | | 高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉 |
| | | 社会福祉援助技術 |
| | | 介護理論・介護技術 |
| | | 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。) |
| | | 人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解 |
| 加齢に関する理解・障害に関する理解 | | |
| 商船 | 2 | 商船の関係科目 |
| | | 職業指導 |
| 家庭 | 6 | 家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) |
| | | 被服学(被服製作実習を含む。) |
| | | 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) |
| | | 住居学(製図を含む。) |
| | | 保育学(実習及び家庭看護を含む。) |
| 家庭電気・家庭機械・情報処理 | | |
| 職業指導 | 3 | 職業指導 |
| | | 職業指導の技術 |
| | | 職業指導の運営管理 |
| 英語 | 4 | 英語学 |
| | | 英米文学 |
| | | 英語コミュニケーション |
| | | 異文化理解 |
| 宗教 | 3 | 宗教学 |
| | | 宗教史 |
| | | 「教理学、哲学」 |

(※) 福祉については、平成19年の社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年法律第30号)改正により、介護福祉士制度が変更されたことに伴う学習指導要領の改訂に対応したものであり、平成22年に免許法施行規則を改正し、現行の7科目区分とした。

今後のスケジュール（予定）

○第1回 家庭WG 5月25日（木）

（ ※参考：技術・情報WG 5月16日（火）
理科WG 5月22日（月） ）

○第2回各教科WG 6月20日（火）

（ ※参考：技術・情報WG 6月15日（木）
理科WG 6月26日（月） ）

○第3回各教科WG 7月 前半

■第2回検討委員会 7月 中旬～下旬頃